

◆豊川市伝統芸能支援事業

# 赤坂の舞台歌舞伎公演

明治時代の農村舞台を今に残す「赤坂の舞台」を会場に、金沢歌舞伎をはじめとする伝統芸能の公演を行います。

赤坂の舞台・金沢歌舞伎はいずれも市の民俗文化財に指定されている貴重な歴史的財産です。当日は、小屋掛けと呼ばれる、竹と丸太を用いてドーム状の屋根を形づくった特設の客席でご鑑賞いただけます。



## 演目

- みのり太鼓 (赤坂小学校5年生児童)
- 義太夫 寿式三番叟 (おくにさん座)
- 三人吉三巴白浪 大川端庚申塚の場 (宮南部小学校歌舞伎クラブ)
- 仮名手本忠臣蔵 三段目鎌倉御所の段 (金沢歌舞伎)



公演に先がけ  
小屋掛け作業見学会を開催!

日時●9月23日(日)  
午前10時※小雨決行

赤坂地区の地元有志によって結成された小屋掛けの会による小屋掛け作業終盤のドーム状の屋根作りの様子や、普段は見ることができない赤坂の舞台の裏側、また、赤坂宿場資料室(音羽生涯学習会館内)をご案内します。音羽支所玄関前へ直接ご集合ください。



平成24年

10月13日(土)

赤坂の舞台「杉森八幡社境内」

## 赤坂の舞台



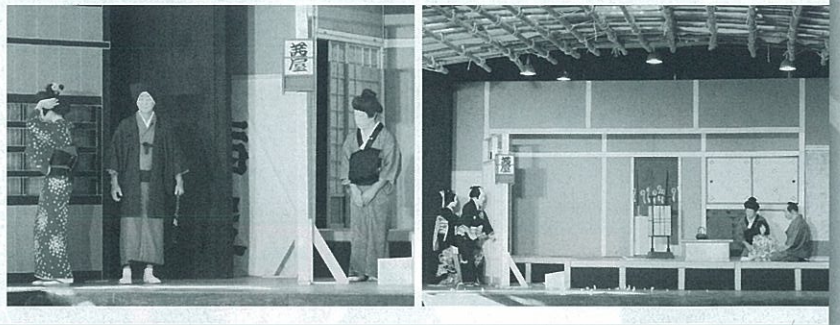
名電赤坂駅から徒歩13分

主催 豊川市教育委員会  
 053338818035  
 開演 午後12時30分  
 入場料 無料(全席自由)  
 駐車場 音羽支所駐車場をご利用下さい。  
 問合せ 豊川市教育委員会生涯学習課  
 雨天時◆ウインディアホール(豊川市音羽文化ホール) ※小雨の時は現地でご公演します。大雨の時は会場をウインディアホールに変更して公演します。台風などの荒天時は公演を中止する場合があります。

## ◎金沢歌舞伎

豊川市金沢地区に伝わる農村歌舞伎は、江戸時代後期から明治時代にかけて始まり、神社の祭礼の余興として演じられてきました。最盛期、一部の有志は県外で活動したこともありました。

昭和55年より活動が再開され、毎年公演を続けています。



## ◎一宮南部小学校歌舞伎クラブ

校区に伝わる「金沢歌舞伎」を、学校のクラブ活動に取り入れることによって、地域の活動に携わっていくことを目的として活動しています。クラブの子どもたちだけでも公演するほか、部員や卒業生が、金沢歌舞伎一座に加わって出演するなど、伝統芸能の後継者育成にも資しています。



## ◎おくにさん座

戦後一世を風靡した市川少女歌舞伎で活躍した市川梅香のもとに、昭和62年、10～20代の男性ばかりが集まり、素人の歌舞伎集団「おくにさん座」を立ち上げました。その名を、歌舞伎の祖である出雲の阿国おくにと名古屋山三さんざにあやかり、豊川市を拠点とし各地で公演を行いました。その後、座員の学業、就職などにより一旦活動休止となりましたが、昨年、小中学生や高校・大学生、社会人の男女新メンバーを加えて活動を再開しました。



## ◎赤坂の舞台と小屋掛けの会

三河地域の東部や北部には、農村舞台が数多く分布することで知られています。この地域では江戸時代から農村歌舞伎と呼ばれる地芝居が盛んで、神社の境内に専用の舞台が設けられることがままありました。

豊川市内でも近年このような舞台の取り壊しが進みましたが、それでもいくつかの舞台が残されています。なかでも、杉森八幡社の「赤坂の舞台」は今でも活用されている貴重な例といえるでしょう。

この地域の農村舞台は、舞台部分だけを建てて、客席は屋外とする形式のものです。このため、杉森八幡社の「赤坂の舞台」は、例祭に合わせて小屋掛けと呼ばれるドーム状の屋根を形づくった客席が特設されるようになりました。ここの小屋掛けは竹を両側からアーチ状に掛け渡し、登梁で吊り上げるという独特のもので、平成18年に地元有志によって結成された小屋掛けの会によって45年ぶりに復活しました。

